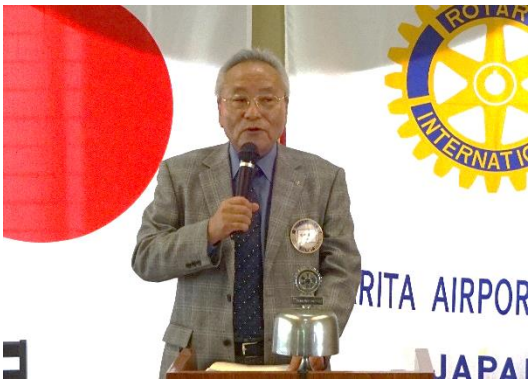
平成 30 年 5 月 17 日発行　NO.2218　第 2371 例会　　会長　前川 成吉　　幹事　倉石 昌治　　会報委員長　桜井 隆宏

例会報告（平成 30 年 4 月 26 日）

点鐘
ソ　ン　グ　　「我らの生業」
唱　　和　　「四つのテスト」
会長挨拶　　会　長　　前川成吉
幹事報告　　幹　事　　倉石昌治
プログラム
　本日のお客様
　　国際ﾛｰﾀﾘｰ第 2790 地区ﾊﾟｽﾄｶﾞﾊﾞﾅｰ
　　白鳥政孝様（市原 RC）
　各委員会報告
　卓話（白鳥政孝様）

会長挨拶



本日は 2790 地区パストガバナー白鳥政孝様をお迎えしての例会となります。白鳥様ようこそおいで下さいましてありがとうございます。後程、卓話の方よろしくお願いします。
今年は「明治 150 年」であります。が、明治 20 年くらいまで事実上の「幕末」が続いていた、とみなす説があります。無理もありません。明治初期の日本人は江戸時代の生まれで、西洋式の学校教育とも、国際的常識とも無縁でありました。明治 2 年、英国のビクトリア女王の次男エジンバラ公が来日することになった。外交儀礼上、日英両国の国歌を吹奏する必要がある。来日直前、英国軍楽隊の音楽家フェントンは、薩摩出身の若い通詞・原田宗助に言った。

明治の舞台裏を探求
おだ・とよじ＝1945 年生まれ
劇団「こまつ座」の『the 座』元編集長。著書に『鉱山のビックバンド』など。

「貴国の国歌を私はうかつにも知らなかった。申し訳ない。すぐにわが軍楽隊が練習をするから、大至急、教えてほしい」
宗助は困惑した。日本人は国歌という概念を知らなかった。急いで新政府の重鎮に報告すると、政府すら、国歌の意味や重要性を知らなかった。結局、宗助は薩摩琵琶の曲『蓬莱山』の一節「君が代は千代に八千代に…」を歌ってフェントンに聞かせてごまかした。フェントンは歌詞だけを生かし、新曲を書いた。これが初代の日本国歌である。今の「君が代」は 2 代目で、ほかにもいろいろな「君が代」が明治に作られていた。フェントンに指導を仰いだ日本初の西洋式楽隊「サツマバンド」の演奏が西洋人に絶賛されたのは、わずか 1 年後の明治 3 年だった。今の私たちが明治の先人から学べることは多い。
当クラブでも、毎月第一例会では「君が代」を歌いますが、このような歴史があるという事を覚えて下さい。

幹事報告

①例会変更のお知らせ
・東金ＲＣ　・佐原ＲＣ
・多古ＲＣ　・銚子ＲＣ
・茂原東ＲＣ
②会報受領クラブ
・八日市場ＲＣ
③ガバナー事務所より
・希望の風セミナー開催のご案内
・ＲＹＬＡスケジュール表
④お知らせ
・5 月～　クールビズ開始
・次年度から第 6 分区→第 7 グループと呼称
・八匝少年少女発明クラブ開校式と式次第が届いております。
・4/21 会長幹事会の報告

卓話

ロータリーにおいて大事なこと

第 2790 地区パストガバナー　白鳥政孝様

本日はお招きを頂きありがとうございました。
演題は自由だということで考えました。宗教、民族の違いにより、いろいろな思いや考えがある世の中で、私たちが考えなければならない大切なことは何かと思いを巡らした結果、「ロータリーにおいて大事なこと」と題した演題にしました。群れをなして生活する人間はお互い意志疎通を図るコミュニケーションが一番大事であります。排他的な宗教や民族および政治体制の違いがいろんな紛争を起こし、しかも、この紛争は絶えることがありません。そこで人類は知恵をだし、ルールを設けたのですが、残念なことに人間の浅はかな欲望のために、宗教・民族が支配する国や政治体制の異なる国同士のコミュニケーションは不足がちか、皆無であります。このような世にあってロータリーが考えるべき大事なことはコミュニケーションの質を上げて話し合うことが大切になります。これはロータリーのレベルを上げることにも通じるものがあります。コミュニケーションについて皆さんと考えたいと思います。

設　問

問1.「ロータリークラブ」とは　ひと言でいうと

問2. ロータリーの微章（ピンバッジ）が
発して いるメッセージとは

答えはいろいろであり　多様であります

もちろん、私自身の考え（答え）がありますが、最後に述べさせて頂きます。

多様性　Diversity

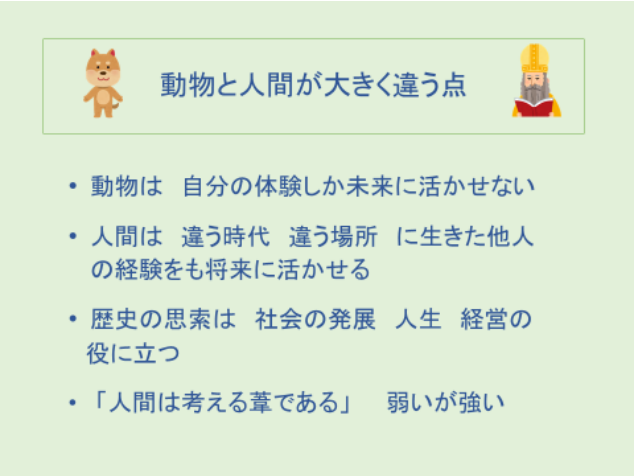
人間は多様な考えをもって社会を構成している
多様性に富んでいる
この多様性を 否定 してはならない

多様性を発揮できる社会は 強靭 である

他の人が述べる考えを容認して自分の考えに
付加していく → お互い進歩していく
対話の基本姿勢

この人間社会での多様性について考えてみましょう。社会は様々な考えをもつ人によって構成されて多様性に富んでいます。そして、この多様性こそが強い社会を作っています。だから多様性を否定してはならないのです。例えば全体主義や独裁体制の社会あるいは損得で判断する取引の政治は多様性を否定しています。そこには知恵は生まれないばかりか、恐怖社会となり、社会や政治は混沌とし、停滞します。対話は多様性を重視し、他人の考えを容認しあいます。そして民度（政治意識・知識・教養）を高めあいます。民度を高めることは民主主義を発展させてまいります。このような社会ではコミュニケーションは活発になり、自由な社会となり、豊かな文化が育まれます。対話の基

本姿勢は他人を尊敬（尊重）し、相手を理解することから始まり、切磋琢磨しながら進歩してまいります。そして相互理解の平和な社会が築かれてまいります。いわゆる多用性に根ざした強靭な社会がつくられるのです。



人間が動物と大きく違う点を挙げますと

・動物は自分の体験しか未来に活かせません

・人間は、違う時代違う場所に生きた他人の経験をも将来に活かせます。

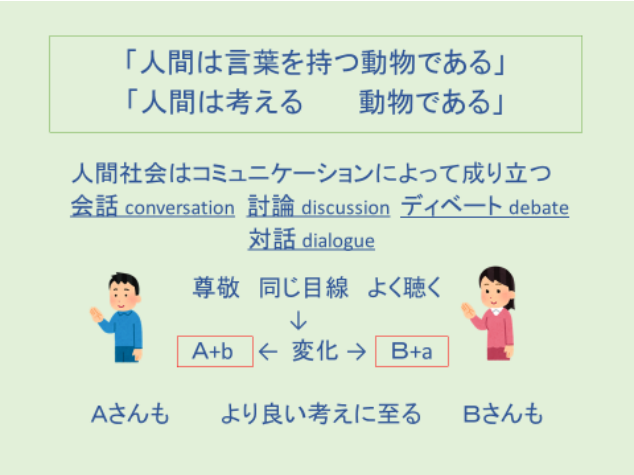
「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」といいます。

・歴史への思索は社会の発展や人生の糧になり、経営にも役立ちます。

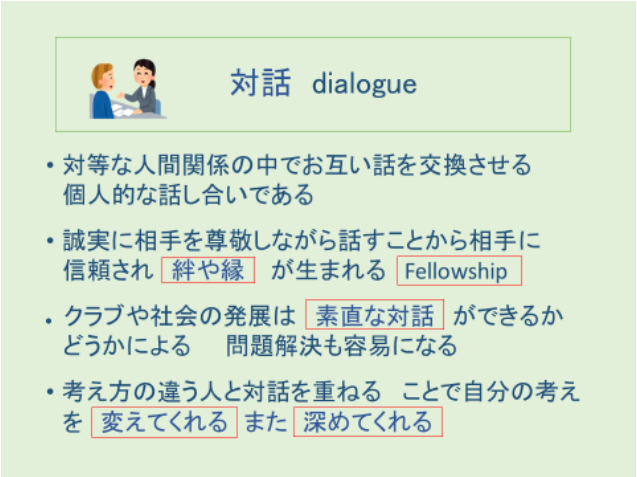
・「人間は考える葦である」でもあります。

哲学者パスカル　フランスの哲学者

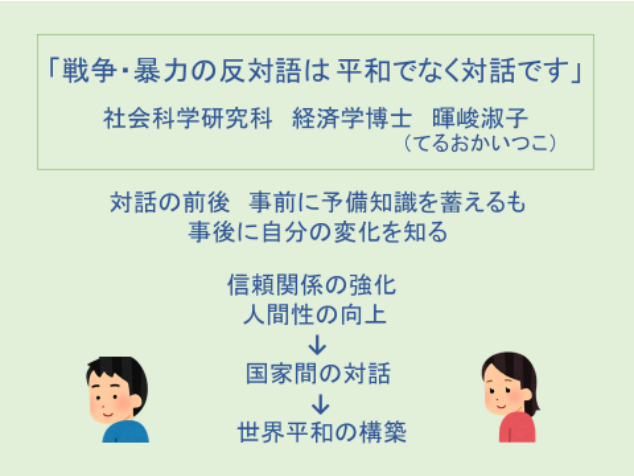
人間は一人では葦のように弱いが、考えたり、コミュニケーションを交わしながら団結し、知恵を出し合い、道具を作ったりするので、他の動物よりも強くなれるのです。



さらに人間は言葉を持つ動物であるし、人間は考える動物であることです。言葉を持ち考えることのできる人間は意思交換ができるのが特徴であります。この特徴を活かすコミュニケーションには会話、討論、ディベート、対話があります。本日の話す対話 dialogue に注目してください。お互いがレベルアップする素晴らしいコミュニケーションの方法です。対話の特徴は相手に敬意を表し、同じ目線で真剣に話し合います。相手の考えを拒否しないで自分の考えに取り入れ（容認）てよく考える。その結果今までの自分の考えと違う考えが浮かんできます。これがお互いが向上する大きな原動力となり、進歩・発展する社会を作ります。今、国際間で対話の必要性が盛んに言われています。ディベートは、話す前と後とで考えが変わった方が負け、対話は話す前と後で変わっていなければ意味がないのです。そして、双方とも一段と深い考えになります。独裁者は対話を嫌い、他者の意見に耳を傾けようとしません。

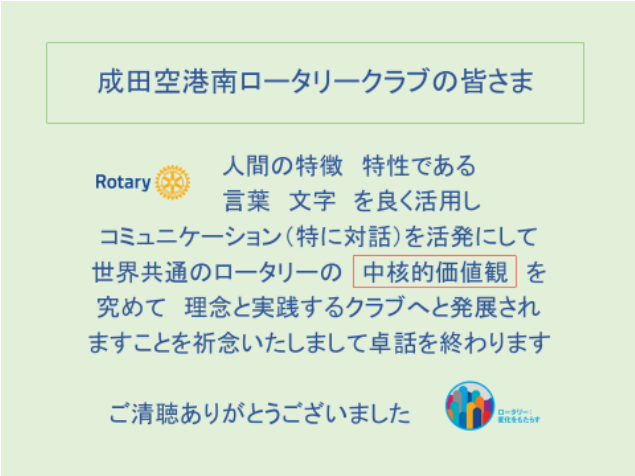


対話には実にたくさんの有益な特徴があります。対話を考えていくと、ロータリークラブの基本姿勢が浮かび上がってまいります。対話はどんな世界（実業の世界・政治の世界・地域の世界・家族の世界・・・）でも効果あるコミュニケーションの方法です。正しい対話を身に付けて社会生活を営むことが、いかに大事であるかがお分かりになると思います。同じ目線で対等に話し合う社会の実現は、素晴しい世界を社会やクラブにもたらします。それは考え方の違う人と対話を重ねることでお互いが自分の考えをより良い方へ変えてくれるからです。また深めてもくれます。他人の言に謙虚に、真剣に、素直に耳を傾けるからです。これが対話の大きな特徴であります。そこに対話する者同士の心に強い友情（Fellowship）が生まれてきます。ロータリーのいう親睦であります。ロータリーの本当の Fellowship はこのようにした対話から生まれるものです。



このように対話の姿勢やこころの在り様は 、自己抑制で相手を思いやるロータリーの「超我の奉仕 」“Service above self”　そのものであります。だからこそ「戦争・暴力の反対語は平和でなく対話である」と言えるのです。対話からは信頼関係の強化と相互理解が深まり、それが国家間の相互理解となり、世界平和へと繋がるのです。さらに真剣になって人の意見を容認するから自分の人間性の向上にも役立ちます。ロータリーは「切磋琢磨する場」とか「例会は人生の道場」であるといわれるのは、このような対話がロータリークラブ内で行われるからであります。ロータリークラブの基本である親睦のあるべき真の姿ではないでしょうか。そして、対話への努力は世界平和への道を歩む第１歩でもあります。

私たちは、この対話を家庭に、会社経営に、クラブ内のコミュニケーションにあらゆる場面で対話を試みるならば素晴らしい成果を生みます。対話の活用は、クラブの成長や家庭の団欒に、職場や地域の活性化に優れた効果を発揮します。



ロータリーの将来に向けての戦略においてロータリーには中核的価値観があります。親睦　奉仕　高潔性　多様性　リーダーシップ　の価値観です。世界のロータリーに共通の価値観であり、ロータリアンやクラブは真剣に取り組まなければなりません。対話とともにこの価値観はロータリー運動の DNA として連綿と伝えていかなければならないし、ロータリーの４つの目的や５大奉仕を実践する場合この中核的価値観のブラッシュアップ（磨き上げ）が大切になります。このブラッシュアップこそが、常日頃のロータリー活動の基本であります。成田空港南ＲＣの皆さま、人間の持つ特性をよく活用して頂きまして、理念と実践の模範的なクラブとして発展されますことを祈念いたしまして一旦この卓話を終わります。

卓話の中で「対話」の大切さを話させて頂きましたが、昨年 12 月に対話の PPT を作成しましたのでご参考までに添付いたします。ご参考に供して頂ければ幸いに存じます。

対話　Dialogue

2017.12.1

「戦争・暴力の反対語は　平和でなく対話です」

社会科学研究科　経済学博士　暉峻淑子
（てるおか　いつこ）

By Shiratori

世界は、今、いたる所でテロや紛争が発生している。それに伴い難民が続出して大きな社会問題を抱えている。考える、言葉を交わすことができるのは人間の特徴であり、人類発展の有効な手段であります。少数の我欲の権力者は、その手段を民主的に使わずに抑圧によって罪のない無辜の民に塗炭の苦しみをなめさせている。そこには、欲望にかられた人間の負の本能そのものであり、人間の尊厳の一片すら見出すことができない。一方、対話は戦争・暴力を無くする民主的な手段あり、人類の発展と平和に供するコミュニケーションであり、誰でも身に付けることのできる知的な手段です。しかし、人間の本能と違うので負の欲望を抑える訓練をしなければ身に付きません。対話について考えてみたいと思います。

「戦争・暴力の反対語は平和でなく対話です」

「人間は言葉を持つ動物である」

[会話]　conversation
雰囲気を和やかにする雑談　人間社会の潤滑油となる

[討論]　discussion
個人的な話し合いでなく　目的が明示され より良い解決のための結論が求められる

[ディベート]　debate
テーマの肯定側と否定側に分かれ賛成/反対を一定のルールに基づいて闘わせ　勝ち負けを決める　ゲームや競技に似ている

[対話]　dialogue　1

- 1対1の対等な人間関係で中で　お互い話を交換させる個人的な話し合いである
- 相手を尊重して相手の感情や考えを排除しない
- ある論点が何度も発展的に往復するうちにお互いにとって自然な発見があり　大きな視野 が開ける
- 「対話の意味はそのプロセスにある」といわれる
- 考え方の違う人とコミニュケーションをとることで自分の考えを変えてくれる　あるいは深めてくれる可能性がある

[対話]　dialogue　2

- 誠実に話すことで　相手に信頼され　絆や縁　が生まれる
- リーダーシップの観点からいえば　チーム内の部下の新しい可能性に気づく
- チームの活気・発展は　素直な対話　ができるかどうかによる　問題解決も容易になる
- 議長（進行役）が対話力を駆使すれば　実りある会議にすることができる

[対話]　dialogue　3

AとBの どちらかに決める話し合いは 討論 である
違いを炙りだし 理解し合う話し合いは 対話 である

- 対話において　　A 氏　Aという意見（考え）
　　B 氏　Bという意見（考え）

A氏は A+b　B氏は B+a　の考え持つにいたる

- 対話によって謙虚さ　洞察力　多様性が身に付く
- 考えの増幅・改善にともない人間的成長が促される
- 対話によってビジネスやロータリーの成功・発展につながる　地域社会・家庭にも好影響をもたらす

「対話」時に意識すること　1

- 「対話」と「会話」を混同しないこと
会話は相手の価値観に立ち入らないが　対話はお互いの考え方が違うからこそ　考え方を深めることができる
- 相手の話を「傾聴」する　次に聴いた話を「考える」そして　その考えを相手に「話す」
対話力とは 聴いて 考えて 話すことの繰り返しである
- 対話では　自分と違う考えを排除するのでなく 相手の世界を理解することが必要である

「対話」時に意識すること　2

- 意見が違うことに理解するが　無理に同調しないで聞き流すことも必要である　どこに同調して　どこを聞き流すかが　対話では重要なポイントになる
- 人間は「考える葦」である　　パスカル　哲学者（仏）
  対話は情報収集ではない　情報収集も大切だが自分の 考えを深め　まとめる　考える力　があるかないかが　もっと大切である
- 相手が何を求めているのかを　直感的に理解してツボを外さないで　応答できる直観力を　養うことも必要である

「対話」時に意識すること　3

- 「話す力」とは誠実に礼節をもって話すことが肝心である
- 基本的には1対1の関係であることから 相手の反応を見て 相手の世界や意識に合わせて話す ことが大事になる
- 対話中に相手の話を理解するのは難しいので 対話後に　振り返ることが大切である
  いわゆる「振り返る力」であり　相手の立場を考えて上から俯瞰して振り返ることが必要である

「対話」のレベルアップのために

- 「相手と正面から向かい合う」「相手の人格を尊重する」「注意力・精神力」「美徳・礼節」「時間」「気持ちの余裕」を養うことが肝心となる
- 世間話から対話モードになったら相手の話に意識を集中する
- 1対1や多人数での対話を「振り返る力」でトレーニングに励むこと
- 対話の目的は対話を通じて「より深い考え方」に到達することである　そのことを意識する

対話の効果

- 人間的な成長ができる対話を ロータリーが率先して普及に努めるならば　クラブは発展し　世界のロータリアンが ロータリーの掲げる世界共通の 中核的価値観 を高いレベルで対話するようになる
  その成果は究極の目的である 世界平和 に役立つようになる
- 対話は　世界　国家　地域社会　会社　家庭に真の民主主義をもたらし　平和と発展をもたらす 最大のツール といえる

対話から人生を豊かに

- 人生は単に月日を重ねるのではなく　対話を重ねて充実した人生を　周囲の人 と 過ごすことだ
- 対話は　人に多くのことを考えさせる結果　民度を上げる大きな手段となる
- 世にオピニオンリーダーを任ずるロータリーの世界に対話は欠かせない

“人類の永遠の発展のために「聞く力」を高め　対話力を身につけていこう”

人間性の質が上がれば、対話のグレードが上がる。対話の質が良ければお互い人間性に進歩に効力がる」「人間社会に及ぼす好結果は計り知れない」。

私たちロータリアンは率先して対話に取り組み、世のためになる尖兵としてＲＬＩにも真剣に、洞察力をもって取り組みたいものです

ロータリー：変化をもたらす

ニコニコボックス

土屋俊夫君・冨一美君・内田裕雄君・古西弘和君
高田一行君・小川佐内君・渡邊孝文君・鈴木匡哉君
　…白鳥ＰＧ　本日は卓話ありがとうございます
倉石昌治君
　…先日は父の葬儀において大変お世話になりました

本日計	19,000 円
累　計	632,010 円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
4 月 26 日	33	18	31	58.06

☆ 欠席をしたらメークアップをしましょう ★